

2021年11月11日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

## LGBTQ への取組評価「PRIDE 指標」における最高評価「ゴールド」受賞 及び「ベストプラクティス」への選定について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 <sup>かめざわ ひろのり</sup> 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、2021年11月11日、任意団体 work with Pride（以下 wwP）による LGBTQ などの性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞<sup>1)</sup>し、また、特に優れた取り組みを表彰する「ベストプラクティス」に選定されました。



「PRIDE 指標」は、2016年に策定された日本初の LGBTQ 施策の評価指標で、各企業・団体等の、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）について採点し、総合結果を「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価するものです。

MUFG では、性的指向・性自認等にかかわらず、誰もが自分らしく活躍できる職場の実現を目指し、2016年度以降、差別禁止方針の明示や社員向け研修の継続実施、「同性パートナーシップ認定制度」の導入などに取り組んでまいりました。2021年度は、MUFG 社内だけでなく、社会に対しても影響力を発揮するべく、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社三井住友フィナンシャルグループと協働して「私たちから変えていく ～MUFG・〈みずほ〉・SMBC グループ LGBTQ アライメッセージ動画」を制作し、4月に開催された「東京レインボープライド」にて公開いたしました。これらの取り組みが wwP に評価されたことで最高評価「ゴールド」の受賞に至り、また、メッセージ動画は特に優れた取り組みとして「ベストプラクティス」に選定されました。

MUFG は、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現に向けて、「インクルージョン&ダイバーシティ」をサステナビリティ経営における 10 の優先課題の 1 つとして定めています。今後も多様な社員が活躍できる職場環境づくりに向け、様々な取り組みを行ってまいります。

<sup>1)</sup>「ゴールド」の受賞は、MUFG およびグループ 6 社（株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJニコス株式会社、MUS ビジネスサービス株式会社、MUS 情報システム株式会社）における取り組みに対し、評価を得ました。

以上